

DAITO ROTARY

OSAKA JAPAN

CLUB WEEKLY BULLETIN

第2660地区
大東ロータリークラブ

- 事務所
〒574-0046 大東市赤井1丁目2-10
ポップタウン住道本館4階
TEL:072-875-1200
FAX:072-875-0590
E-mail:office@daito-rc.org
http://www.daito-rc.org/
- 例会
毎週火曜日 12時30分~1時30分
〒574-0076 大東市曙町4-6
大東市民会館 4階「大会議室」
TEL:072-871-0001

◆4つのテスト◆

言行はこれに照らしてから

- ① 真実かどうか？
- ② みんなに公平か？
- ③ 好意と友情を深めるか？
- ④ みんなのためになるかどうか？



創立 1967 年 12 月 26 日

- 会 長 上田 正義
- 幹 事 小川 芳男
- 会報委員長 杉原 巨峰

大東ロータリー会長テーマ

「今を生きる、そして未来につなげる」

2013年~2014年度
国際ロータリーのテーマ

ロータリーを實踐し
みんなに豊かな人生を

国際ロータリー会長
ロン・D・バートン

平成 25 年 11 月 26 日

No.2228

H25.11.19 (No.2227 の例会記録)

今週の卓話 (11月26日)

「ロータリー財団月間に因んで」

木村 克己 ロータリー財団委員長

次週の予定 (12月3日)

「大東ロータリークラブ46周年に因んで」

大川 真一郎 会員

先週の例会報告

◆ 出席報告 (11月19日分)

会員数 43名 出席数 25名 欠席者 5名
特定免除 13名 その他免除 0名
出席率 83.33%

前々回 10月29日分

ホームクラブの出席者 26名 61.77%
メイクアップの結果 35名
特定免除 8名 その他免除 0名
欠席者 0名 修正出席率 100.00%

今月のテーマ

「ロータリー財団月間」

ロータリーソング

夜間(移動)例会につき 割愛

ニコニコ箱

裏面に記載



今晚は、例会出席ありがとうございます。本日は久しぶりの夜間例会です。

「職業奉仕情報集会」でもあります。この後の食事会で情報の交換で親睦を深めてください。

先日15日にサーティホールにて、第8回大東市小中学生弁論大会に審査員で出席してまいりました。多くのメンバーが、子供達の元気な発表を聞きに来ていただき誠にありがとうございました。

小学生1256名・中学生2721名の応募から、本選に残った、小学校6年生5名・中学生5名の「弁論」は何れも甲・乙つけにくい素晴らしい「弁論」でした。その中より各2名「大東ロータリークラブ会長賞」を選出させていただきました。弁論を聞いて私の「会長の時間」の話より、内容も話し方も上手で勉強不足を反省しながら採点しておりました。

弁論大会で感じた事ですが、「論語」の中に「子、四を以て教う。文、行、忠、信」（し、よつをもっておしう。ぶん、こう、ちゅう、しん）という言葉があります。私達が生きて行く上では、学んだこと（文）を知識に終わらせずに行動に移す（行）のはとても重要です。「論語」は実践哲学ですから、その事が繰り返し教えられています。ただそれだけでは十分とはいえません。それと同じくらい大切なのが真心（忠）であり誠実さ（信）なのです。」文・行・忠・信・「四つのバランスが重要です。内面を充実させていったら、それがいつしか外に現れてくるもので、それはいつの世も変わらない真理であると思います。日本人の中には、内面を充実させながらそれを包んでしまうことを美德と考える人もいますが、孔子は内面が充実していて外に表れないものもったいないと考えました。だからといって、たいした中身もないのに、外見だけよく見せようというのはバランスの取れた人間とは言えません。内面を磨いて、そこから滲み出る心の輝きをそのまま日常の所作の中で率直に表現していくことが大事だと孔子は言うのです。文・行・忠・信はとても短い言葉ですが、日々の生活の中でこの四つを常に意識して自分自身のバランスを図っていくことで、理想的な人間に近づいていけるのではないかと思います。

「弁論」もその人のバランスが顕著に表れるものではないでしょうか。





委員会報告

◎ニコニコ箱

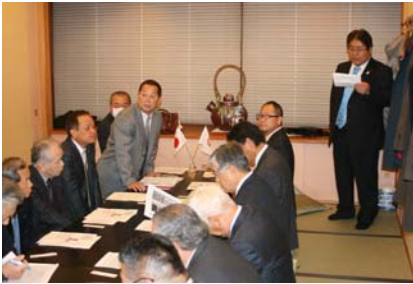
東野 喜次 委員長

- ・例会出席ありがとうございます 感謝 上田 正義 君
- ・コンペ優勝させていただきました 感謝 小川 芳男 君
- ・誕生日ケーキ頂きありがとうございます 感謝 藤本 和俊 君
- ・弁論大会お疲れ様でした 高島 登 君
- ・第3回ゴルフコンペにご協力いただきましてありがとうございました
大矢 克巳 君
- ・中野委員長有難うございました 感謝 佐藤 多加志君
- ・東野さん大変お世話になりました 感謝 木村 克己 君
- ・親睦会にて東野会員には大変お世話になりました
会長、幹事お忙しいところ有難うございました 感謝 東村 正剛 君
- ・東野さんおいしいピザありがとうございます 感謝 空門 満也 君
- ・会長、幹事、東野さん、中野委員長ありがとうございます 感謝
間 紀夫 君
- ・弁論大会感動しました 竜間の夜 みなさんに感謝 徳山 泰之 君
- ・東野さんありがとうございます 森岡 信晶 君
- ・親睦会にて歓迎会、ありがとうございます
東野会員美味しいピザ他ありがとうございます 会長、幹事、ごちそう様でした
山田 伸 君
- ・先日は、不味いピザ、おいしそうに食べていただきありがとうございます
又、差し入れありがとうございます 東野 喜次 君





11月19日（火）、秀於 夜間例会および社会奉仕情報集会が開催されました。



◎ゴルフ同好会

大矢 克巳 キャプテン

先日11月13日（水）、グランデージゴルフ倶楽部にてゴルフコンペが行われました。参加者14名、優勝は小川幹事でした。

次回も多数の御参加よろしくお願ひ致します。





「夜間例会にて」

社会奉仕委員会 松原 清一 委員長

国際ロータリー 2660 地区 ロータリー百科事典より抜粋してお話しさせていただきます。

8. 社会奉仕

8.1 社会奉仕を考える

奉仕の第三部門である社会奉仕は、クラブの所在地域内または行政区域内に居住する人々の生活の質を高めるために、時には他と協力しながら会員が行うさまざまな取り組みから成るものです。社会奉仕に関する方針として 1923 年の声明、決議 23-34 と 1992 年の声明、決議 92-286 があります。両者の大きな違いは、前者がロータリーの奉仕活動全般に対する指針であるのに対して、後者は社会奉仕の実践のみに限定された指針であります。前者の原文は 3.2 小節に記述されています。



8.2 決議 23-34 の変遷

内容割愛

8.3 社会奉仕の基本原則

1992 年、社会奉仕に関する新声明とし決議 92-286 が採択されました。これは現行の決議 23-34 と共に使用され、個人奉仕と共にクラブに色々な方法で社会奉仕に参加するよう推奨するものであります。また、国際ロータリーの義務として、社会奉仕に関する情報を伝え、ロータリーの綱領を推進し、ロータリアンやロータリークラブや地域の努力により、有益なプログラムやプロジェクトを提案することを認めるものです。

社会奉仕に関する 1992 年の声明

ロータリーの社会奉仕とは、ロータリアンひとりひとりの個人生活、事業生活、社会生活に奉仕の理想を適用することを奨励、育成することである。この奉仕の理想の適用を実践する中で、各ロータリー・クラブはさまざまな社会奉仕活動を開発し、会員に奉仕の多大なる機会を与えてきた。ロータリアンの指針として、また、社会奉仕活動に対するロータリーの方針を明確に表すために、その原則は次のよう





にまとめられる。社会奉仕は、ロータリアンひとりひとりが「超我の奉仕」を実践する機会である。地域に住む人々の生活の質を高め、公共のために奉仕することは、すべてのロータリアン個人にとっても、またロータリー・クラブにとっても献身に値することであり、社会的責務でもある。

この精神に立脚して、各クラブに対し次のように勧奨する。

- 1) 地域社会における奉仕の機会を定期的に調査し、各クラブ会員に地域のニーズを検討させること。
- 2) 社会奉仕プロジェクトを実施するに当たっては、会員の得意とする職業上の能力や職業以外の力を生かすこと。
- 3) どのようにささやかであっても、あらゆる社会奉仕活動が重要であると認識したうえで、地域のニーズを汲み、地域内のクラブの立場や可能性に見合ったプロジェクトを始めること。
- 4) 各種社会奉仕活動を秩序立てるために、ロータリー・クラブが提唱するインターアクト・クラブ、ローターアクト・クラブ、ロータリー地域社会共同隊、その他のグループと緊密に協力すること。
- 5) 国際レベルのロータリー・プログラムと活動を通じて社会奉仕プロジェクトを強化する機会を探し出すこと。
- 6) 社会奉仕プロジェクトの実行に当たっては、望ましく、また、実現可能な限り、必要とされる資金や人材の提供までも含めて、地域社会にも参加を求めること。
- 7) 社会奉仕の目標を達成するために、RI の方針に沿って他団体と協力すること。
- 8) 社会奉仕プロジェクトが一般社会の人々に十分認められるようにすること。
- 9) 社会奉仕活動において他団体の協同参加を促進する触媒としての役割を果たすこと。
- 10) 適切であれば、地元地域社会、奉仕団体、その他諸団体に、継続中のプロジェクトを委譲すること。そうすれば、ロータリー・クラブは新プロジェクトに携わることが可能となる。RI は、ロータリー・クラブの連合体として、社会奉仕のニーズや活動を伝え、広め、かつロータリーの綱領を推進し、参加を望むロータリアンやロータリー・クラブ、地区の力を結集すれば役立つと思われるプログラムやプロジェクトを適宜提案する責任がある。 (ロータリー章典 8.040.1.)

8.4 クラブと地区の社会奉仕活動への参加

ロータリークラブの会長は、多様化する地域社会のニーズに応えるために、以下に示したように、いろいろな分野の社会奉仕小委員会にロータリアンを任命し、





職業上の立場を生かしつつ地域社会のニーズを調査・分析し、他の団体と意見交換を行いながら、効果的な社会奉仕活動に取り組むことが求められています。

(ロータリー章典 8.040.3.)

効果的な社会奉仕をする基礎として、ロータリー・クラブ会長は、必要に応じて、人間尊重、地域発展、環境保全、協同奉仕の各社会奉仕小委員会の委員を務めるロータリアンを任命するよう奨励されている。この小委員会は、次のことを行うよう要請されている。

1. 地元のそれぞれの地域の特定の相対的状況を総合的に調査、分析し、地域社会のニーズを確認する。
2. 地域社会のニーズを見出すために個人的、また職業上の立場を生かしてクラブの所在地域内を探り、社会奉仕委員会の調査、分析を補足、強化するよう個々のクラブ会員に勧める。
3. 他の地域団体との会合を、所定の方針に従って行うことができる場合、そのような会合を開き、話し合いと意見交換を行う。
4. 地域社会のニーズに積極的に関心を示し、これに精通していることを会員候補者選考の一要素に含める

(ロータリー章典 8.040.3.)

8.5 社会奉仕プロジェクト

社会奉仕プロジェクトは、薬物濫用防止、識字率の向上、高齢者への援助を始めとして、病院、学校、その他の地域施設の改善、改良、清掃及び再生利用キャンペーンにまで及びます。社会奉仕には、ロータリーの提唱する組織、ローターアクトクラブ、インターアクトクラブ、ロータリー地域社会共同体などの共同奉仕者との協力も含まれます。

8.6 社会奉仕の事例

人間尊重

- ①社会的弱者への支援、
- ②保健、衛生、長寿で健康、
- ③子育て支援、
- ④社会治安の向上、
- ⑤才能のある人の発掘・支援、
- ⑥文化交流で心豊かな人の育成、
- ⑦災害に備える

地域発展

- ①産業育成、
- ②観光の街づくり、
- ③街並み整備

環境保全

- ① 山、野の植樹・森林の育成、
- ②河川の清掃・魚や蜚の棲む清流、
- ③街路の清掃、
- ④歩行者天国、
- ⑤クリーンエネルギー





協同奉仕

①頭キャンペーン、 ②国際交流

ロータリーの心と実践 第2章 奉仕活動の概念と手法

(2660 地区研修委員会 09-10)

22.6 ロータリー財団の「未来の夢計画」

ロータリー財団は、2017年に創立100周年を迎えます。創立以来、プログラムにほとんど変更を加えることがありませんでしたが、多種多様な関係者の意見を取り入れ、「世界でよいことをしよう」を標語に、未来の夢計画を立案しました。この計画では、ロータリアンが多岐にわたるプロジェクトを実施することで、多大な影響をもたらし、持続可能な成果を生むことができるよう、一層効果的で効率のよい支援方法を目指しています。新しい補助金制度は、2013-14年度から全世界で導入されます。新補助金は、次の表に示したように、大別すると、「新地区補助金」と「グローバル補助金」の2種類になり、両補助金共に ①人道的補助金プロジェクト ②奨学金 ③職業研修チームの三つの活動に利用することが可能です（未来の夢計画 授与と受諾の条件 ロータリー財団 新地区補助金およびグローバル補助金

(http://www.rotary.org/RIdocuments/ja_pdf/fv_grant_terms_conditions_ja.pdf)

新しい補助金制度

新補助金 財源 裁量 分野 活動

新地区補助金 DDF（注1） 地区 不問 i.人道的補助金プロジェクト ・ 地元や海外の奉仕プロジェクトや渡航費用

- ・ 一回限りの小規模プロジェクト
- ・ 実施地はロータリーの存在の有無を問わない
- ii.奨学金 ・ 高校・大学・大学院・専攻に制限はない
- ・ 奨学金額に制限はない
- ・ 学校は国内・国外いずれも可
- iii.職業研修チーム・共同提唱や海外クラブ・地区との協力といった要件はない
- ・ 人数や期間制限がない

グローバル補助金

DDF 及び

WF（注2） ロータリー財団 6重点分野に限る





- ① 平和と紛争予防/紛争解決
- ② 疾病予防と治療
- ③ 母子の保健
- ④ 水と衛生設備基礎教育
- ⑤ 識字率向上
- ⑥ 経済開発と地域開発 i.人道的補助金プロジェクト i-1. クラブ&地区補助金
(従来同様、地区・クラブが実施するプロジェクト)

2 カ国以上のクラブや地区が参加する

- ・ ロータリーが存在する海外における事業
- ・ 長期にわたる大規模プロジェクト
- ・ 持続性のある成果が上がるプロジェクト
- ・ 活動資金が最低 3 万ドル以上のプロジェクト

i-2. パッケージ・グラント (地区・クラブに、協力組織が加わり実施するプロジェクト)

重点分野を専門とする団体との共同関係の下で実施され、資金は全て WF から支給される。

ii.奨学金・重点分野の一つ、または複数に関連する大学院または相当するレベル

- ・ 1-4 年の研究に授与
- ・ 海外の受け入れ地区に留学する必要がある

iii.職業研修チーム ・ 重点分野で経験や専門知識があり、できれば関連する専門職務か事業に雇用されている

- ・ チームリーダーの 少なくとも 1 名がロータリアンである

(注 1) DDF=地区財団活動資金：年次寄付と恒久基金利息の 50%。地区が
使途決定に発言権をもっています (詳細は 22.5.5 をご参照下さい)。

(注 2) WF=ワールドファンド：国際財団活動資金。年次寄附の総額と恒久基金運用利益の総額の合計の 50%で、世界各地で教育的・人道的財団活動に使われます (詳細は 22.5.5 をご参照下さい)。

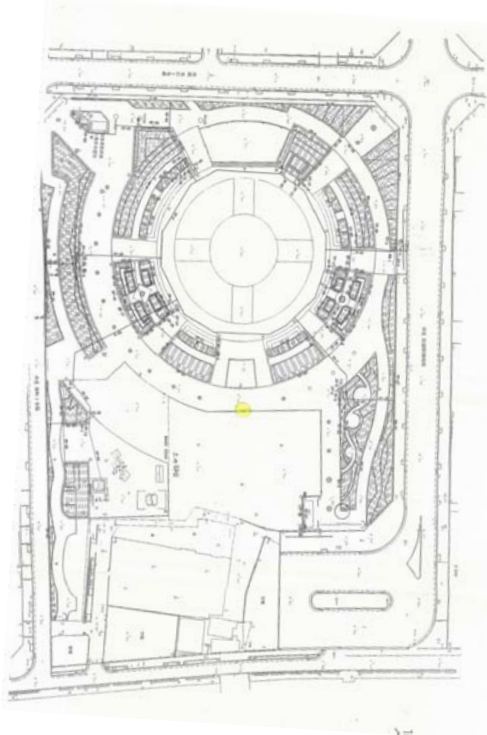




<地区補助金を申請して 本年度 当クラブの事業>

末広公園内にベンチを設置

目的：老人 子供 妊婦 障害者の為のベンチを憩いの場の公園に設置



●ポインセチアとは●

クリスマス1ヶ月前になり、毎年この頃になると街中に現れる定番の花木で、赤と緑の鮮やかなコントラストがクリスマスを感じさせてくれます。真ん中にちょこんと黄色く見えるものが本物の花で、赤く色づいているのは苞葉（ほうよう）という葉の一種です。

(別名) 「ショウジョウボク」 [猩々木]
(性質) 非耐寒性 常緑性 広葉低木
(花言葉) 「祝福」

【ポインセチア栽培のワンポイント】

- ◇寒さには弱い。
- ◇普通に育てては葉が色づきにくい。
- ◇乾燥させると葉っぱが全部落ちるので、暖房には注意。
 - ・寒さには弱く、15℃を切る頃には室内に取り込む。
 - ・日中は良く日に当てること。また、短日処理として、17時～朝8時まで、段ボールなどをかぶせて夜の人工照明も遮る。
 - ・暖房が直接あたる所などに置かないようにし、土の表面が乾いて3から5日くらい間を空けて、控えめな水やりを心がけましょう。

